

認定講師

ジェルマスター認定各位

日本アイスフラワーアカデミー  
事務局



寒さもいよいよ厳しくなり冬も本番を迎えたようです。湿度が低い冬の環境はアイスフラワーやジェルボックスには最適の環境です。バンバン作りましょう。

### ★制作技術の Q&A

#### Q、大きな気泡を手直ししたい

(気泡の空間をジェルで埋める手法です)

- ・まず花や副資材をできるだけ避けてナイフなどの鋭利な刃物でジェルを切り取って、気泡箇所へジェルを入れるトンネルをつくります。
- ・トンネルは大きいほど補修用のジェルが入れやすくなります。
- ・花や副資材があつて気泡へのトンネルがつかれない場合は、その箇所をジェルと一緒に取り除きます。
- ・トンネルや花を取り除いた跡はジェルが白くなりますので、カニスプーンやマドラスプーンなどを温めて白くなったジェルに接触させ溶かして透明にします。
- ・白くなったジェルは小さな気泡となりますので要注意です。
- ・トンネルに 90℃～95℃以上に温めたジェルを少しずつ流し込みます。
- ・ジェルが入りにくい箇所はマドラスプーンなどを温めて周りを溶かしながら誘導します。
- ・ジェルを充填したら速やかに中板を入れ蓋をします。
- ・ジェルは補修箇所より外に漏れない程度に入れましょう。中板と接する大部分のジェル層は固いので蓋が閉まらなくなります。

※ 失敗は成功のもと；どんどん失敗して技術を習得しましょう。



## ★今月の花



スプレーローズ（白）

月の祈り



スプレーローズ

オレンジドット



ミニローズ

ラナンキュラ



ミニローズ

レビュー



アジサイ



ペロニカ

## ★除湿と調湿について

(湿気を取る方法は2種類ありますのでご注意ください)

### 1) 除湿剤

湿気を取って逃がさないもので容量の限界まで湿気を取り続けます。使い回しは出来ません。

### 2) 調湿剤

湿度の状態に応じて吸湿と放出を繰り返すもので湿度70%前後に調湿する性質があります。吸湿後は天日に干すだけで繰り返し使えます。

**※注意！** 上記は100均でも販売していますがアイスフラワーの湿気対策には「除湿剤」をお使いください。70%の調湿では意味がありません。

本部からの花輸送には短時間ですので調湿剤を使用する場合がありますが、保管には先回お知らせしました通り是非大きな密封容器を使用して「除湿剤」(フマキラー社の激乾など)を入れて管理してください。

密閉容器に入れて花が褪色(色に変化)するのは湿度対策が万全でない証です。お気を付けてください。

## ★本部の年末年始について

2013年12月28日～2014年1月5日までお休みさせていただきます。

1月6日の月曜日から業務を開始します。

2014年が皆様にとって幸多かれの年でありますようご祈念いたします。

